

## 令和7年度盛岡市予算の概要について

### 1 予算規模【資料1】・キャッチフレーズ

◇総額 1,242億 8,000万円

◇「夢の実現に向け 共に創ろう 新たなまちづくり予算」

令和7年度一般会計予算の総額を 1,242億 8,000万円とした。

6年度当初予算との比較で、29億 5,000万円、2.4%の増となっている。

また、令和4年度に次いで、過去2番目の予算規模となった。

全国的には賃金改善の動きはあるものの、引き続きエネルギー価格や物価高騰などの影響により、市民生活や地域経済活動の先行きが不透明な状況が続いている中、令和7年度の予算編成においては、市民が安心して暮らせるよう、また、市民サービスの向上につながるよう、「盛岡市中期財政見通し」で見込まれた厳しい財政状況を踏まえ、事業の見直しや特定財源の活用などに留意しながら、令和7年度が初年度となる新しい総合計画の共に目指す将来像である『輝きが増し 活力に満ち夢をかなえるまち盛岡』の実現に向けた予算化に努めたところ。

特にも、人口減少下においても、誰もが活躍できる社会を市民と共に創造していくため、重点的・施策横断的に人口対策を推進する「未来創造プロジェクト」を中心に予算を重点配分した。

### 2 総合計画基本目標における主な新規拡充等事業【資料2】

**基本目標1** 豊かな地域資源が活力を生み出すまちづくり

【新規事業】

- ・民間投資による盛岡駅西口複合施設の整備に係る調査の実施
- ・もりおかSDGsファンド後継ファンドへの出資
- ・高校生と地元企業の交流プログラムの実施・キャリアサポート専門員の配置
- ・東北絆まつり（盛岡さんさ踊り）の大阪・関西万博への出展によるPRの実施の実施

### 【拡充事業】

- ・新たな工業用地の適地調査等に基づく候補地の課題整理及び誘致活動
- ・「つなぎでつなぐ盛岡さんさ踊り」や「街なかさんさ」（実施日数の増）の実施、国内外でのプロモーションの実施等
- ・盛岡市・ビクトリア市姉妹都市交流事業（40周年記念事業）

## 基本目標2 人を育み未来を選べるまちづくり

### 【新規事業】

- ・児童センターや放課後児童クラブへの発達支援相談支援員の巡回指導
- ・24時間365日体制でのチャットによるこども相談
- ・ヤングケアラーに関する実態調査の実施

### 【拡充事業】

- ・こども誰でも通園制度の私立保育所等での実施
- ・宿泊型産後ケアの実施
- ・完全給食の実施に向けた新たな給食センターの整備（PFI導入可能性等調査の実施）
- ・小・中学校エアコン設置を「特別教室」へ拡大（3年計画の2年目）

### 【6年度からの繰越事業】

- ・小・中学校給食食材費補助を通じた保護者負担の軽減

## 基本目標3 人がいきいきとつながり支え合うまちづくり

### 【新規事業】

- ・高齢者の帯状疱疹予防接種の定期接種開始
- ・県の救急安心センター事業（#7119）への参加を通じ適正受診を推進

### 【拡充事業】

- ・重度心身障がい者医療費給付事業の対象に精神手帳1級所持者を追加
- ・「地区活動センター・地域交流活性化センター」や「老人福祉センター」へのエアコン設置  
※7年度で全施設に設置見込（長寿命化修繕での設置施設を除く）
- ・健康への配慮などの要件を満たした飲食店を市の認証店として登録し周知

## 基本目標4 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

### 【新規事業】

- ・公共交通不便地域における地域内交通の運行計画検討及び試験運行
- ・まちづくりの将来像と方策を示す「（仮称）盛岡市中心市街地デザイン戦略」

を市民と共に策定し、常設展示などを通じ市民と共有

- ・市街地環境の整備改善（中心市街地における優良建築物等整備事業への補助）
- ・動物愛護管理センター整備に係る基本設計等の実施
- ・動物病院整備に係る測量や基本設計の実施

#### 【拡充事業】

- ・犯罪被害者への総合支援窓口の設置及び見舞金制度の創設
- ・都南総合支所における照明のLED化

以上のことを踏まえ、令和7年度一般会計予算については、

「夢の実現に向け 共に創ろう 新たなまちづくり予算」

としたところである。

### 3 未来創造プロジェクト事業【資料3】

◇2つのプロジェクトで人口対策事業を重点化

(1) 働きたい・住みたい・行ってみたいまち創造プロジェクト

(42事業／事業費：23億9,111万円)

#### 〔新規事業〕

- 1 盛岡駅西口複合施設整備調査事業 (10,000千円)  
⇒ 民間投資による盛岡駅西口への複合施設の整備に係る調査を実施。
- 2 もりおかSDGsファンド後継ファンド (10,000千円)  
⇒ もりおかSDGsファンドの後継ファンドの設立に対する新たな出資を通して、創業時や事業拡大時における事業を支援。

#### 〔拡充事業〕

- 1 若者の就業支援事業 (11,900千円)  
⇒ 若者と地元企業をつなぐ取組として、キャリアサポート専門員を配置するほか、高校生インターンシップや対話型のキャリア形成プログラム等を実施。
- 2 食と農のバリューアップ推進事業 (20,033千円)  
⇒ 「第2期もりおかの食と農のバリューアップ推進戦略」に基づき、盛岡産農畜産物の高付加価値化と需要拡大を目指す取組の実施。
- 3 観光客誘致宣伝事業 (39,813千円)  
⇒ 観光客の誘致促進を図るため国内外での各種プロモーションを展開。
- 4 大型観光キャンペーン事業 (33,201千円)  
⇒ 「大阪・関西万博」で「東北絆まつり」として「盛岡さんさ踊り」を演舞披露するなど、観光PRを実施。

- 5 工業用地確保推進事業 ( 2,497千円)  
⇒ 新たな工業用地の適地調査に基づく候補地ごとの課題整理、企業誘致活動を実施。

## (2) 夢を持ち喜びを感じられる子育て応援プロジェクト

(20事業／事業費： 22億 9,337万円)

### 〔新規事業〕

- 1 松園学童保育なかよしクラブ小学校移転事業 ( 4,356千円)  
⇒ 余裕教室を活用した放課後児童クラブの整備に係る実施設計。

### 〔拡充事業〕

- 1 子ども未来基金事業 ( 28,868千円)  
⇒ 市民・企業等が行う子ども・子育て支援の取組への補助に加え、子どもが主体的に取り組むまちづくりに係る活動への補助やサポートの実施。
- 2 特別保育事業 ( 332,626千円)  
⇒ 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の私立保育所等での拡大実施。
- 3 母子保健事業 ( 203,142千円)  
⇒ 妊婦健康診査と母親教室を開催するほか、子育て相談や離乳食教室の実施。訪問型、デイサービス型産後ケアに加え、新たに宿泊型産後ケアを実施。

## 4 補足説明

### (1) 特別会計・企業会計【資料1：1ページ】

#### 〔特別会計〕

- 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計  
⇒償還金の減などにより、10.0%の減
- 介護保険費特別会計  
⇒居宅介護サービス給付費の増などにより、1.5%の増
- 後期高齢者医療費特別会計  
⇒後期高齢者医療広域連合納付金の増などにより、6.0%の増
- 中央卸売市場費特別会計  
⇒市債償還の減などにより、32.1%の減
- 新産業等用地整備事業費特別会計  
⇒第二事業区の用地整備事業費の増などにより、17.2%の増
- 特別会計の計 ⇒介護保険費特別会計等の影響により、0.5%の増
- 一般会計と特別会計の総合計 ⇒32億1,583万7千円、1.8%の増

## 〔企業会計〕

- 水道事業会計の収益的支出と資本的支出を合わせた支出計 ⇒ 8.3%の減
- 下水道事業会計の収益的支出と資本的支出を合わせた支出計 ⇒ 3.4%の増
- 病院事業会計の収益的支出と資本的支出を合わせた支出計 ⇒ 1.6%の増

## (2) 一般会計歳入【資料1：2ページ】

### ○第1款 市税

⇒市税全体

定額減税の終了による個人市民税の増額や法人市民税、固定資産税の増額が見込まれることなどから、市税全体では、6年度予算と比較し、22億 2,561万円9千円、5.3%の増額見込。

### ○第2款 地方譲与税 ～ 第11款 地方特例交付金

⇒法人事業税交付金や地方消費税交付金などの伸びが見込まれるものの、定額減税減収補てん特例交付金(地方特例交付金)の減少により、3.9%の減額見込

### ○第12款 地方交付税

⇒令和6年度の決算見込額を基に、国の地方財政計画の伸び率、市税や各種交付金、譲与税などの状況を勘案して、7.3%の増加見込

### ○第16款 国庫支出金

⇒児童手当負担金や物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増などにより、6.1%の増額見込

### ○第17款 県支出金

⇒統計調査委託金の増などにより、2.1%の増額見込

### ○第20款 繰入金

⇒公共施設等整備基金の取崩し 4億円

市債管理基金の取崩し 5億 1,750万円

財政調整基金の取崩し 4億 9,726万円

財政調整基金の令和7年度末残高見込 約32億9,400万円

### ○第23款 市債

⇒見前小学校屋内運動場長寿命化改修事業の終了に伴う減額のほか、臨時財政対策債の減により、9.7%の減額見込

⇒市債発行額の割合 一般会計予算総額の 7.0%

⇒プライマリーバランス 黒字となる見通し

⇒令和7年度末市債残高見込 1,363億7,365万円

市民一人当たり約49万2千円（令和7年1月末現在住民基本台帳人口 277,107人）

### (3) 一般会計目的別歳出【資料1：3ページ】

#### ○第2款 総務費

⇒定額減税補足給付金支給事業、盛岡体育館長寿命化修繕の増加などで  
31億円、27.8%の増

#### ○第3款 民生費

⇒児童手当支給事業、認定こども園等運営費給付事業の増加などで  
23億3,578万円、4.5%の増

#### ○第6款 農林費

⇒中央卸売市場特別会計への繰出金の減などで  
2億6,486万円、10.7%の減

#### ○第7款 商工費

⇒工場新設拡充等事業の減などで  
1億1,166万円、6.8%の減

#### ○第8款 土木費

⇒太田地区土地区画整理事業、中ノ橋通一丁目地区市街地再開発事業の減などで  
17億2,593万円、11.4%の減

#### ○第9款 消防費

⇒盛岡地区広域消防組合負担金の増などで  
1億9,585万円、4.2%の増

#### ○第10款 教育費

⇒小中学校の長寿命化改修事業の減などで  
12億2,877万円、10.6%の減

#### ○第11款 災害復旧費

⇒令和6年8月27日の大雨により落橋した「畑橋」の災害復旧事業の増により  
1億482万円、皆増

#### (4) 令和7年度当初予算主な事業一覧【資料4】

各会計の主な事業について、次のように表示し、目的別にまとめている。

- ・「事業名の☆」 ⇒新規事業（65事業）
- ・「未創P」 ⇒総合計画の未来創造プロジェクト事業
- ・「長寿命化」 ⇒公共施設保有最適化・長寿命化計画事業
- ・「新市建設」 ⇒旧玉山村との新市建設計画事業
- ・「合併建設」 ⇒旧都南村との合併建設計画事業
- ・「復興推進」 ⇒東日本大震災復興推進事業

### 5 その他

#### (1) 当初予算額の推移

平成22年度以降、1,000億円台で推移している。

令和7年度予算は、1,242億8,000万円で、過去2番目の予算となった。

年度	当初予算額 (単位：百万円)	前年度比	年度	当初予算額 (単位：百万円)	前年度比
25	103,347	△1.1%	2	114,890	3.0%
26	106,070	2.6%	3	118,866	3.5%
27	111,330	5.0%	4	127,620	7.4%
28	111,188	△0.1%	5	121,870	△4.5%
29	107,660	△3.2%	6	121,330	△0.4%
30	110,640	2.8%	7	124,280	2.4%
元	111,530	0.8%	〔6⇒7〕 29億5,000万円の増〕		

#### (2) 財政調整基金等、主要三基金の残高について

財政調整基金の令和7年度末残高見込額は、約32億9,500万円。

6年度末の残高見込額（＝約36億6,311万円）に対して、約3億6,810万円の減少となる見込みである。

◇主要三基金の年度末残高見込額

(単位：千円、%)

区 分	R7末見込	R6末見込	増減額	増減率
財政調整基金	3,294,999	3,663,108	△368,109	△10.0
市債管理基金	2,969,613	3,008,257	△38,644	△1.3
公共施設等整備基金	858,584	1,255,871	△397,287	△31.6
合 計	7,123,196	7,927,236	△804,040	△10.1

### (3) プライマリーバランスについて

市債の新規発行額、約 86億 5,930万円を見込み、元金償還額が約 113億 5,228万円（差＝約26億 9,298万円）であることから、プライマリーバランスは、6年度に続き、黒字となる見込みである。

- 長寿命化計画事業に係る市債について、新規発行額を50億 6,940万円としており、6年度（＝44億 2,550万円）に比べて、6億 4,390万円、14.5%増加した。
- その他事業に係る市債について、新規発行額を35億 8,990万円とした。（仮称）都南東部体育館整備事業などの増があったものの、他の事業に係る市債の圧縮に努め、6年度（＝41億 5,360万円）に比べて5億 6,370万円、13.6%減少した。

◇市債発行区分

（単位：千円、％）

区 分	R 7 新規発行額	R 6 新規発行額	増減額	増減率
臨時財政対策債	0	1,005,754	△1,005,754	△100.0
長寿命化計画事業	5,069,400	4,425,500	643,900	14.5
その他の事業	3,589,900	4,153,600	△563,700	△13.6
合 計	8,659,300	9,584,854	△925,554	△9.7

※) 「その他の事業」に係る新規発行額の増減に係る主な事業は以下のとおり。

- 社会福祉施設整備事業債 △213,100千円減
- 急傾斜地崩壊対策事業債 △109,800千円（皆減）
- （仮称）都南東部体育館整備事業債 363,600千円増

### (4) 資料4の主な事業一覧の新規事業数について

7年度は一般会計で、盛岡体育館長寿命化修繕事業など、65事業、2,377,920千円となっている。（6年度＝65事業、1,201,268千円）

また、特別会計では、0事業となっている。（6年度＝1事業、6,016千円）

### (5) 資料4の主な事業一覧の「新市建設計画」の事業数について

7年度は一般会計で、農業基盤整備事業など、9事業、478,787千円となっている。（6年度＝13事業、691,180千円）

### (6) 資料4の主な事業一覧の「合併建設」の事業数について

7年度は一般会計で、（仮称）都南東部体育館整備事業など、6事業、910,864千円となっている。（6年度＝5事業、423,269千円）

(7) 資料4の主な事業一覧の「復興推進」の事業数について

7年度は一般会計で、東日本大震災復興推進事業1事業、55,985千円となっている。(6年度=2事業、63,787千円)

(8) 施設の長寿命化計画関連事業等について

施設の長寿命化関連事業については、公共施設の最適化・長寿命化計画に基づく教育施設の大規模改修事業など、約66億3,656万円の予算額となる。6年度と比較すると、最適化・長寿命化計画では、盛岡体育館長寿命化改修事業などの増、設備等長寿命化修繕では、公共施設等適正管理推進事業債を活用し外壁修繕などの事業を実施し、ほぼ横ばいの事業費、その他では、クリーンセンターの設備改修の増などにより、全体では約9億8,403万円、17.4%の増となっている。

◇施設の長寿命化関連事業

(単位：千円、%)

区 分	R7事業費	R6事業費	増減額	増減率
最適化・長寿命化計画	5,977,333	5,177,434	799,899	15.4
設備等長寿命化修繕	199,430	192,212	7,218	3.8
その他	459,793	282,877	176,916	62.5
合 計	6,636,556	5,652,523	984,033	17.4

※1) 「最適化・長寿命化計画」は、公共施設の最適化・長寿命化計画に基づく事業

※2) 「設備等長寿命化修繕」は、公共施設設備等長寿命化修繕計画に基づく事業であり、施設の長寿命化のために行う電気設備等の修繕

※3) 「その他」は、上記計画には含まれていない庁舎・施設などに係る修繕等を行う事業